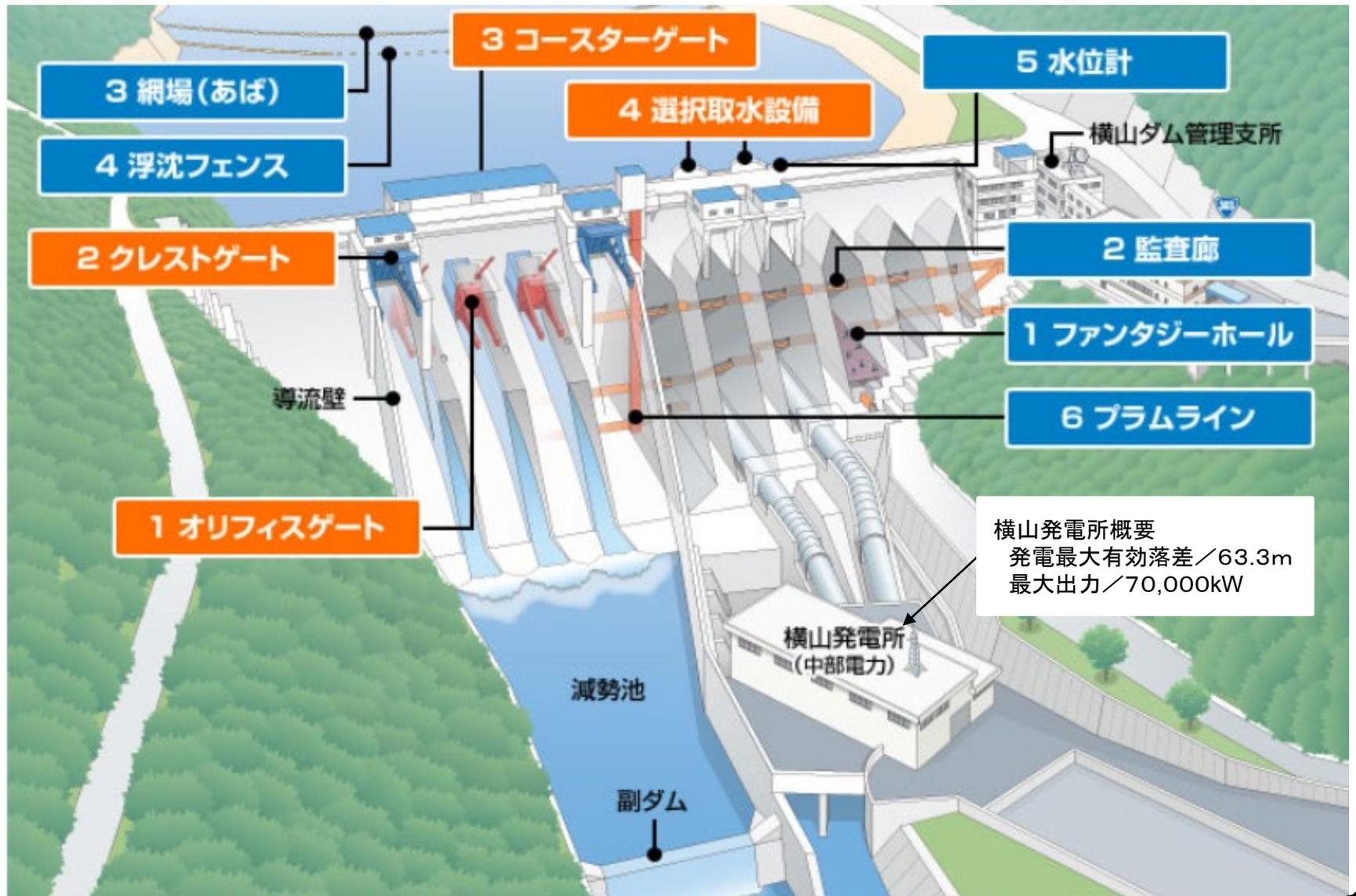


# 横山ダムにおける 発電に資する放流活用操作試行 取組概要

---

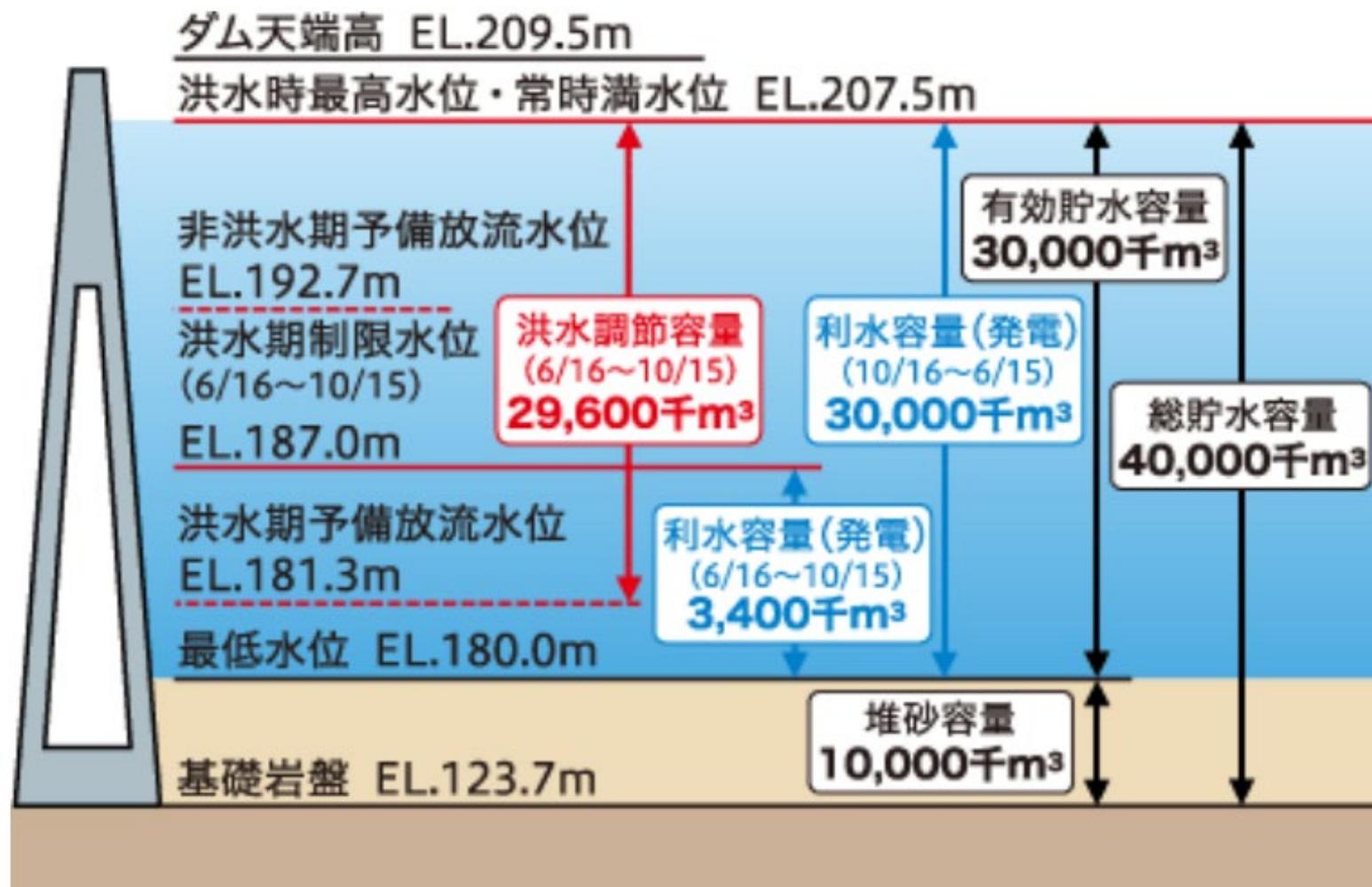
国土交通省中部地方整備局  
木曾川水系ダム統合管理事務所  
中部電力株式会社

# 横山ダム概要



\* 青い名称はダムを管理するための設備、オレンジの名称は放流するための設備です。

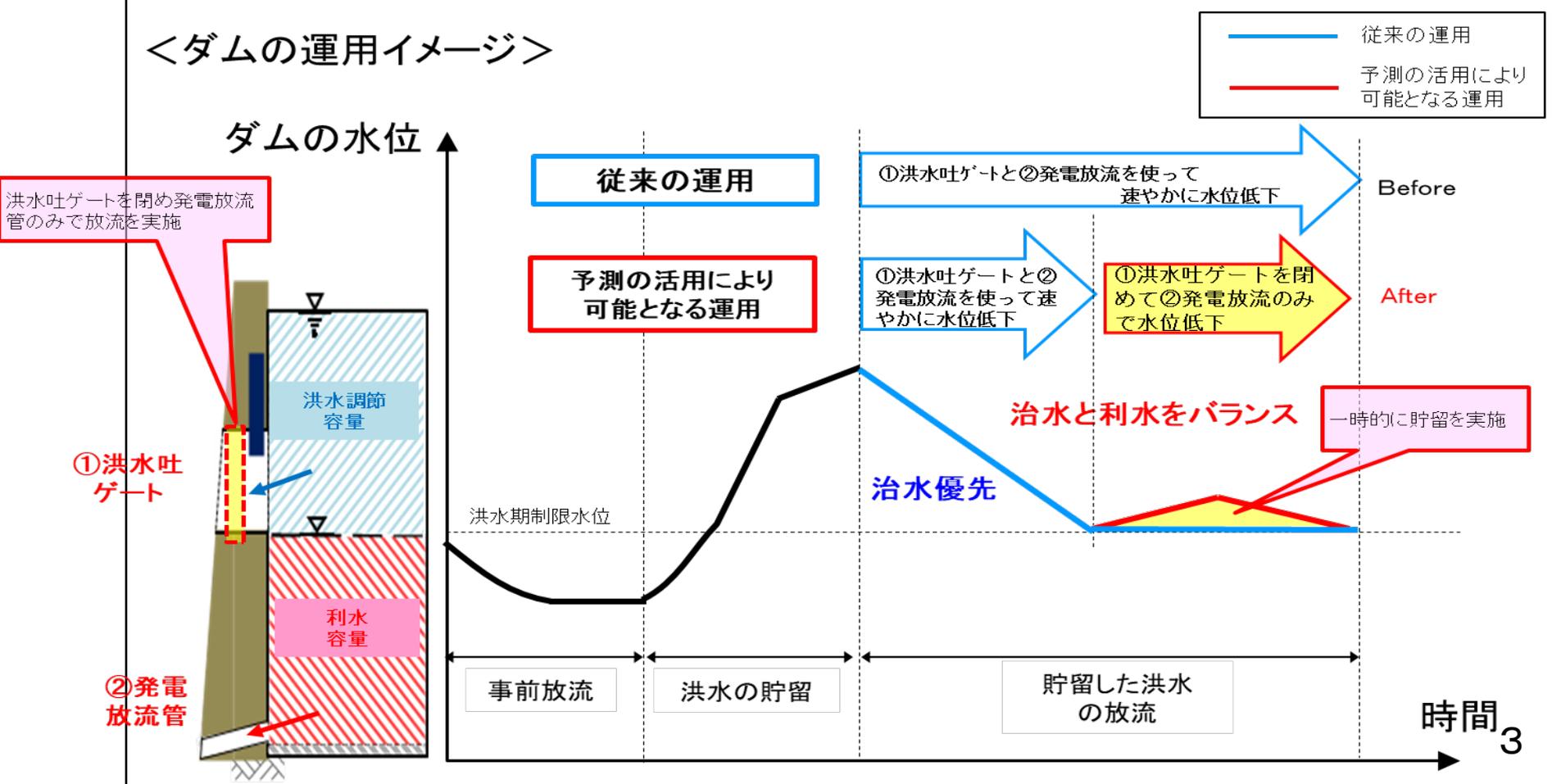
# 横山ダム貯水池容量配分図



# 横山ダムにおける発電に資する放流活用操作(洪水後の貯留水を活用)

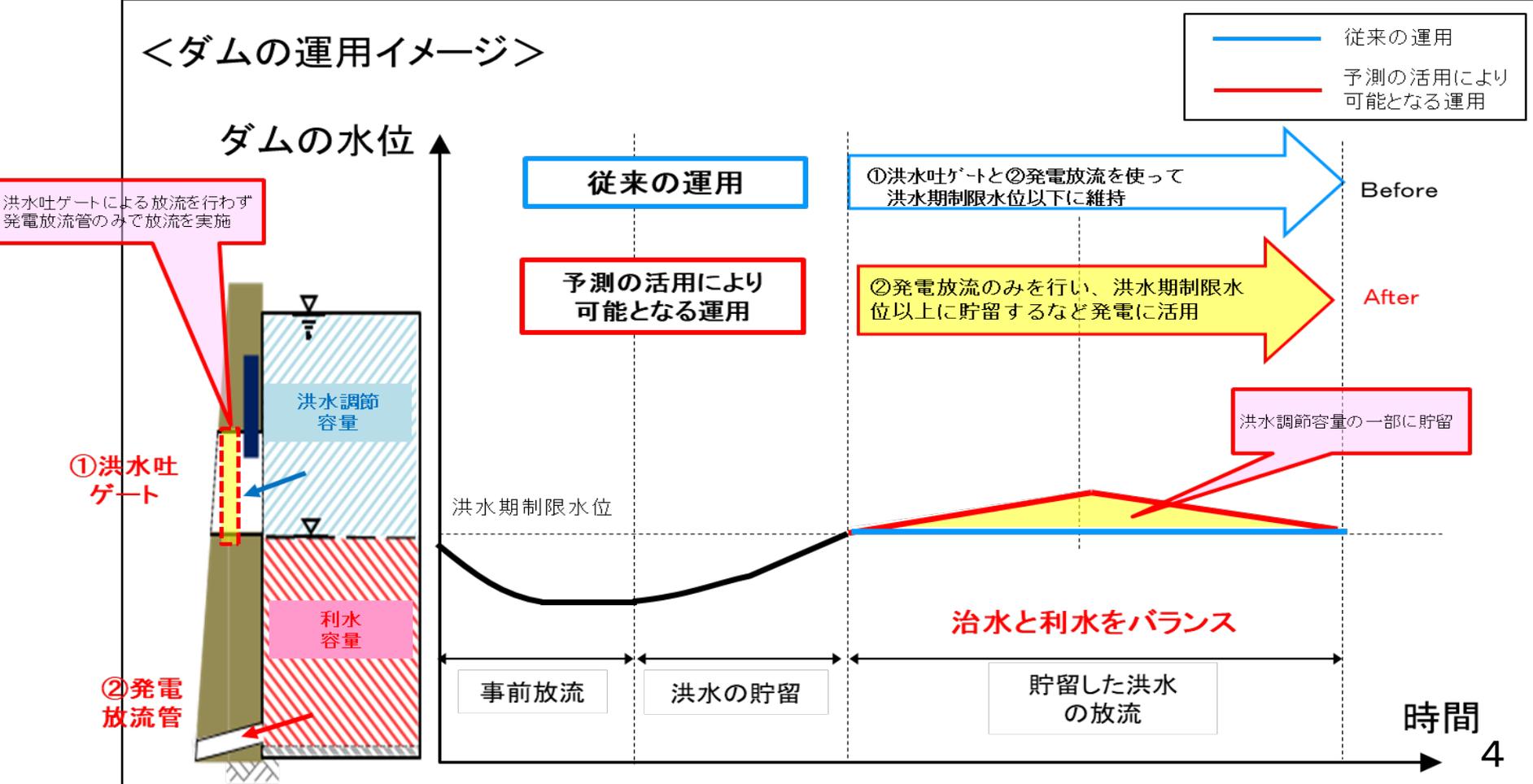
- 従来どおり洪水調節を行った後に、洪水調節容量を回復するために洪水吐ゲートから放流を行い洪水期制限水位程度まで低下させる。
- この段階で、最新の気象予測技術を活用し、洪水に支障のないと判断された場合には、洪水吐ゲート放流を停止し発電放流のみに切り換える。
- これにより、洪水調節容量の一部に貯留するなど、可能な限り発電に活用しながら放流する

## <ダムの運用イメージ>



# 横山ダムにおける発電に資する放流活用操作(洪水とならない出水を活用)

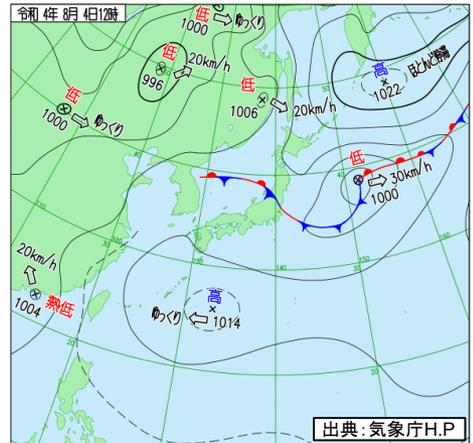
- 従来はダムへの流入量が洪水量に達しない出水において、流入量が発電の最大放流量を上回った場合には、ダムの貯水位を洪水期制限水位以下に維持するため洪水吐ゲートから放流を実施。
- 試行では、最新の気象予測技術を活用し、洪水に支障がないと判断された場合には、洪水吐ゲートによる放流は行わず発電のみによる放流を行い、洪水対応に支障のない範囲で洪水期制限水位以上の洪水調節容量の一部に貯留するなど、可能な限り発電に活用する。



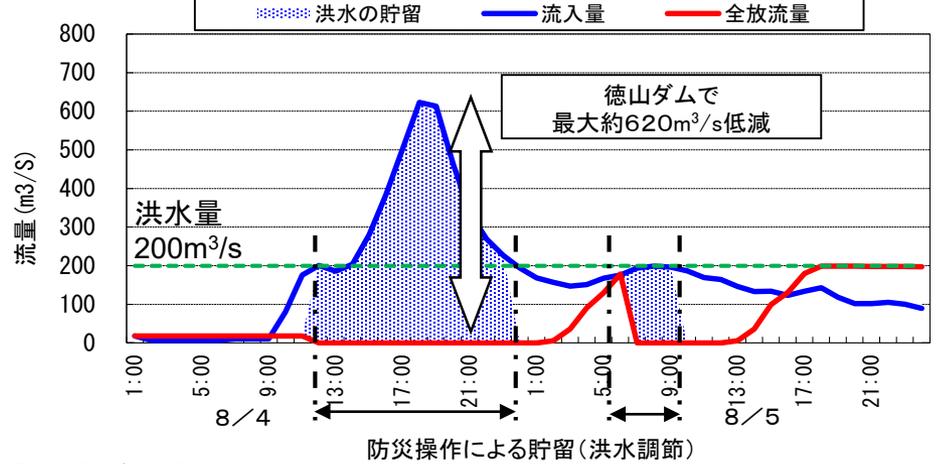
# 8月4日出水と横山ダム・徳山ダムの洪水調節

○8月4日から5日にかけて、前線に向かって湿った空気が流れ込んだ影響により、大気の状態が不安定となり、揖斐川の上流域を中心に局地的に強い降雨となった。  
 ○この降雨により、横山ダム、徳山ダムでは流入量が洪水量に達し洪水調節を実施した。

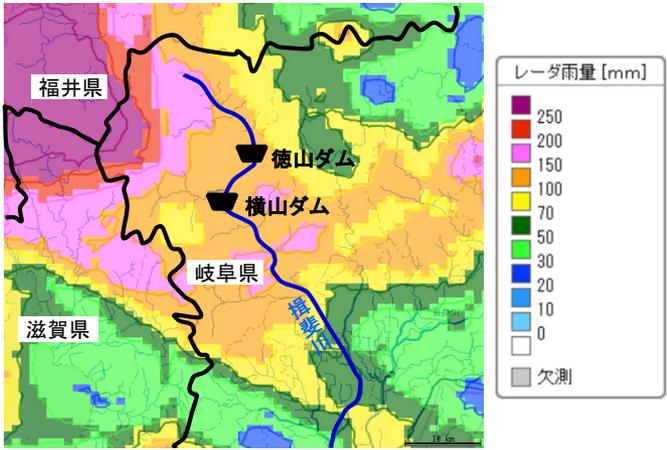
○天気図(8月4日12時)



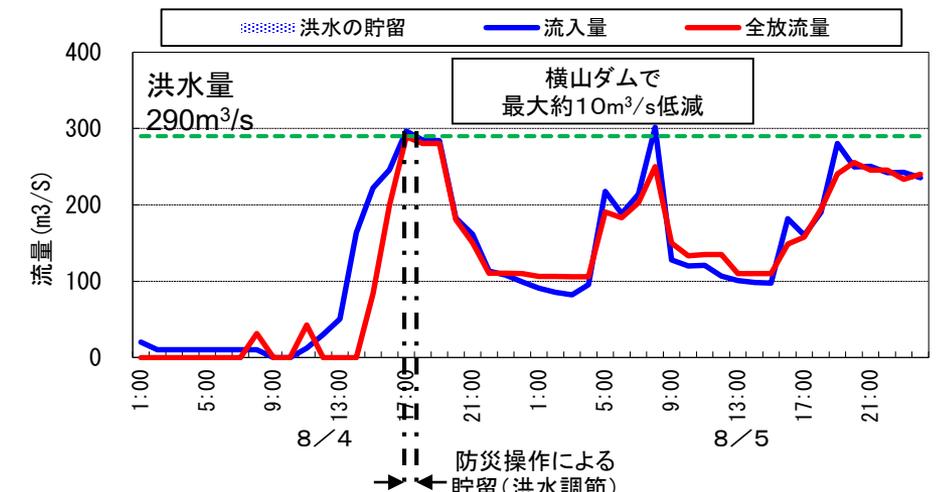
○徳山ダム操作状況



○レーダ累積雨量(8月4日1時~8月5日12時)



○横山ダム操作状況

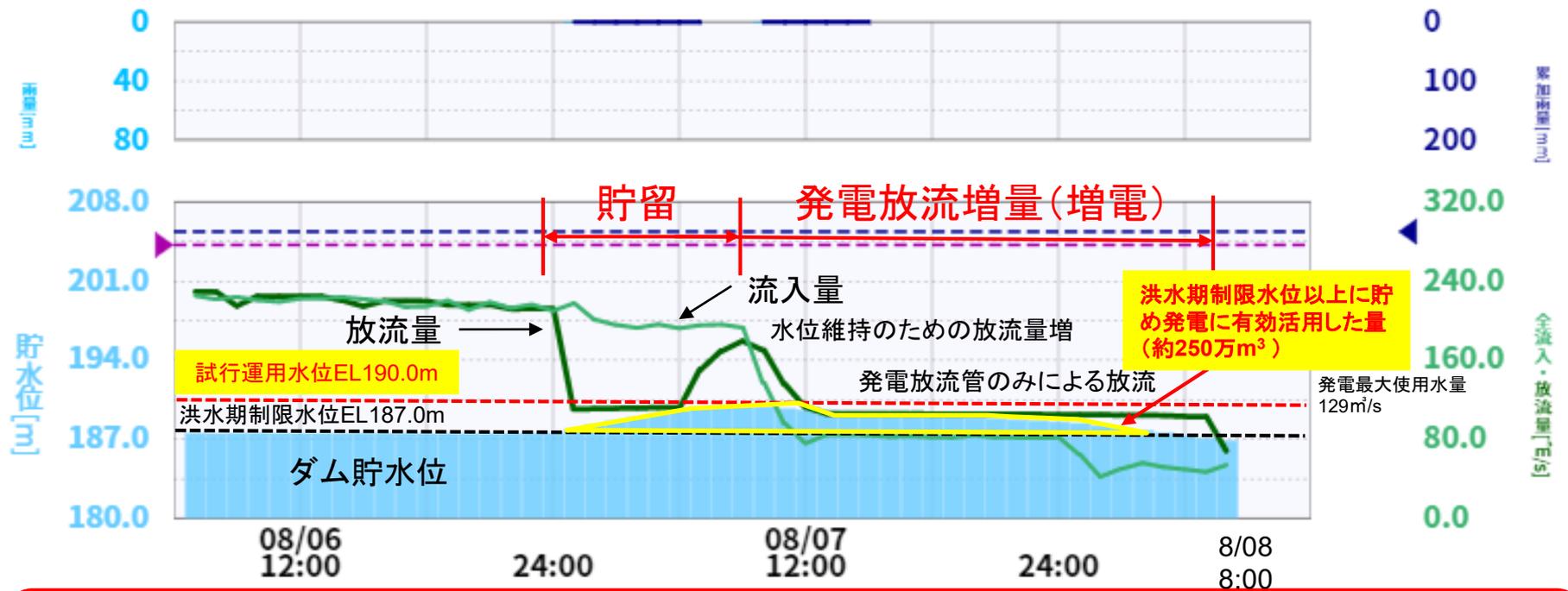


# 8月4日洪水後の横山ダムにおける発電に資する発電に資する放流活用操作

○令和4年8月7日0時～洪水期制限水位以上に貯留を開始し8月7日9時頃貯留完了。  
 ○その発電放流にてドローダウン操作を実施。8月8日8時頃洪水期制限水位以下に低下



## ダム諸量グラフ



- ・今回の操作により、通常の操作と比較して約250万m<sup>3</sup>の水を発電に有効利用。
- ・その結果、約350MWhの増電となり、これは一般家庭約1,300戸が1カ月に消費する電力量に相当。